

「ほっとルーム」だより

第115号 平成30年3月2日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 TEL21-5130)

荒川小で「おあしす」を
開設しました。



荒川小「おあしす」

2月10日(土)、荒川小で「おあしす」を開設しました。家庭教育学級後のお母さん方が、お立ち寄りくださって、それぞれの個性をもった子どもたちへの対応や頑張り等を語りあいました。

子育てアドバイス

気持ちが伝わる言葉かけを！

○「あなたのことを気にかけていますよ」という言葉かけをしましょう。

(子どもは心にとめて貰うとうれしい)

挨拶の言葉かけを大事にしましょう。

「行ってらっしゃい」

「おかえりなさい」

「いただきます」

「ごちそうさま」



○子どもは、言葉で説明できないと泣いたり怒ったりします。

指示や命令だけでなく、「あなたは、どう思う」と聞くようにしましょう。

○短い命令だけでは、子どもにはその意味がわからないことが多い。きちんと理由を伝えましょう。

「〇〇だから、もう少し我慢しようね」

○「わたしメッセージ」で話しましょう。

「お母さんは、〇〇だったらうれしいな」

「お父さんは、〇〇してくれたらうれしいよ」

○子どもに対して、「いいね」という言葉かけをたくさんしましょう。

「今日は、1日ががんばったね」

第2回家庭教育支援連絡協議会を開催しました

2月20日(火)に、本年度2回目の家庭教育支援連絡協議会を開催しました。

本年度の取組やアンケート結果などについて、説明を行いました。委員の方々からは、「幼稚園やいろいろな機関との連携が必要」など、貴重な意見が出されました。今後も各団体等との連携を深めながら、取り組んでまいります。



子育ての中で、気になることがあったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム：教育委員会

社会教育課

TEL：21-5130

FAX：36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、どの学年でも訪問いたします。

家庭での金銭・金融教育について

～荒川小学校家庭教育学級～

荒川小学校家庭教育学級「ほたる学級」は、2月10日(土)に、村上弘朗先生をお招きし、金銭教育について、講話を頂きました。

子どもへお小遣いを定時にあげる等して、金銭に対して子どもを自立させたい。それには、お金を使う目的をはっきりさせることからスタート。

(何に使うかルールを決める) → (自己管理)
→ (自立)

お金に対する負のイメージを持たないために、お金の使い方に失敗があっても怒らず助言をしながら成長を見守ることや、お金を貰った子やお金をあげた祖父母を攻めないなどの話がありました。



学級生の声 → 初めて、金銭教育について学習し、子どもにお金を定時にあげようか考えていた時なので、良いきっかけになった。

読み聞かせをしました。

～照島地区母親学級～

照島地区母親学級は、2月21日(水)、神村学園の体育指導室で、「てるてるくらぶ」の塚田さんをお招きし、読み聞かせをしました。

手遊び歌の後、「くまさんのほっとケーキ」と紙芝居「おむすびくん」を、親子で真剣に聞き入りました。この後、おやつをいただきながら、参加者の語らいの場になりました。そして、楽しい雰囲気の中で閉級式を行い、本年度の活動を終わりました。



参加者の声 → 同年代の子どもどうしの触れあいがあり、母親にとっても情報交換の場になってありがたいです。

家庭教育支援事業の説明を行いました。

社会教育課では、来年度、小・中学校に入学する子どもさんをもつ保護者を対象にした入学説明会を使って、「家庭教育講座」に先立ち、家庭教育支援事業の説明やスタッフの紹介をしました。

入学に向けて、各家庭では、いろいろと準備を進めていらっしゃることでしょう。子どもさんのやる気や頑張りを認め、子どもさんが元気に入学するよう後押ししましょう。



串木野小での説明の様子

○ 健やかな生活リズムを 作りましょう。

(早寝・早起き・朝ご飯)

○ 避けたい言葉かけ

- ・「もう1年生なんだから、しっかりしないとだめよ」
- ・「お友だちに負けないようにがんばるのよ」

